

開放閲覧室(所沢図書館)新装オープン！

渡邊 幸弘(所沢図書館担当課長)

はじめに

所沢図書館は、1987年5月所沢キャンパスに人間科学部が開設されると同時に開館し、本年度で開館25周年を迎えました。

「図書館は大学の心臓である」というたとえもありますが、所沢図書館は100号館のまさに中心に位置しており、図書の蔵書数18万余冊、雑誌約1900種を所蔵する文字通り研究・教育・学習環境の拠点となっています。

今秋、所沢図書館の中で特徴的な施設である「開放閲覧室」がリニューアルオープンしましたので、ご報告させていただきます。

開放閲覧室の設置

早稲田大学図書館報である『ふみくら』のなかに「所沢図書館」の記事は開館当時と開館5年後に掲載されますが、「開放閲覧室」については触れられていませんでした^{i,ii}。図書館にあつて何故「開放？」と思う方もいらっしゃるかもしれません。もちろん所沢図書館内の施設は何ら他の図書館と変わりません。

他のキャンパスと違っているのは、所沢キャンパスが狭山丘陵の自然豊かな環境の中に位置しており、周辺には早稲田キャンパスや西早稲田キャンパスのように学生が集える場所が少なく、キャンパスへのアクセスも路線バスを利用せざるを得ない距離があったということです(現在はスクールバスが増便されアクセスは良くなっています)。

また、当時は人間科学部1学部の研究機能、学習機能を備えた図書館として開館しましたが、開館時間は午前9時30分から午後6時までと現在に比べてかなり短いものでした。

このため、計画当初より、図書館の開館時間以外でも学生が、自習だけでなくグループでディスカッションしながら学習・研究に利用できる施設として設置されたのが「開放閲覧室」です。

開館当時の資料によると、座席数は46席(4人掛テーブル10、2人掛テーブル3)あり、午前8時30分から午後9時まで利用することができ、開館時間の短さを補う施設であったことがわかります(改装前は54席)。さらに学内IT環境の整備が進むにつれて、2003年には当時流行となったカラフルなiMacが10数台とプリンターが設置され、学生が自由に利用できるようになりました(2005年に無線LANが設置されるとiMacは撤去されました)。

他館に比べて開館時間が短かった当館ですが、人間科学部の開設から4年後の1991年4月には大学院人間科学研究科修士課程が、1993年4月には同研究科博士後期課程が新設され、教員からの強い要望もあり所沢図書館の開館時間が午前9時から午後7時までに延長され、さらに2004年4月には閉館時間が午後9時までに延長されて現在に至っています。

この間の開放閲覧室は当初の目的通り学生の学習・研究をサポートする場として利用されますが、学生にとっては単にそれだけの存在ではなく、憩いの場所としてもその役割を果たしてゆきます。



リニューアル前の開放閲覧室

環境の変化への対応

こうした中、時代を追って図書館を取り巻く環境も大きく変わってきました。開館当時、目録カードの代替として所蔵資料が検索できるよう設置された「端末機」は、インターネットの普及により、様々なデータベース(以下、DB)も利用できるようになり、文献や情報を苦勞せずに収集できるようになりました。しかし、DBも多様化しているため、その特徴や操作方法を知った上で利用する必要があります。

中央図書館をはじめ各キャンパス図書館では、導入したデータベースをより有効に利用してもらえるよう、講習会を実施しています。

所沢図書館でも春・秋にDB講習会を開催していますが、キャンパス内に設置されているコンピュータ室は100号館に2室

(うち 1 室は 2 部屋に分割)あるだけで、授業での使用が多く、講習会を開催する場合は授業の合間を縫って日程を選択する必要があるため、開催可能な日時は限定され、受講する人数も限られていました。

開放閲覧室のリニューアル

そこで、単に閲覧テーブルを置いて自学・自習、あるいはグループ学習環境を提供するだけの施設ではなく、講習会を補完できるような学習支援機能をプラスした閲覧室に変えられな
いかとの視点から、2008 年よりリニューアルに向けて関係各所に働きかけてきました。その結果、2011 年 12 月に廊下側窓下にある風の通り道を塞ぎ(冬場は暖房も効かず、ひざ掛けが必要なくらい寒い場所でした)、2012 年 9 月に閲覧室の改装工事が行われ、10 月 1 日、装いを新たに開放閲覧室がオープンしました。これまで所狭しと置かれていた閲覧テーブル等は、座席数こそ減りましたが、自習・グループ学習・講習会など、用途に合わせてレイアウト変更し易いように可動式テーブルを採用し、iMac 設置時に一箇所に纏まって設置されたぶら下げ式のコンセントを、フリーアクセスに変えた床に均等に配置することにより、利用者が持参した PC でも電源を確保しやすくするなど、機能性を向上させた施設としました。

＜開放閲覧室の什器等＞

	改装前	改装後
テーブル	9	8
PCデスク	16	0
チェア	54	32
コンセント	30	30
情報コンセント	16	2

*情報コンセントは無線LANが設置されているため、2口のみ残した。

今後に向けて

リニューアルから2カ月が経過しましたが、利用者の反響もよく、毎日多くの学生が個人・グループを問わず利用しています。また基礎演習やサークル等の討論の場所としても利用され始めています。

今後は、これまで開催してきたコンピュータ室を使った講習会に加え、図書館独自で企画したさまざまな講習会についても開放閲覧室等を使い、少しでも学生への学習・研究支援の一助にしたいと考えています。

ⁱ 『ふみくら』No.11, p.3-5, 1987.6

ⁱⁱ 『ふみくら』No.44, p.6-7, 1994.1



ゆったりとして明るくなった開放閲覧室